

あり方検討会での議論等を踏まえて実施する各種取り組みのフォローアップについて

【資料4】

- 「港湾・空港工事のあり方検討会」において、「働き方改革」「担い手の確保・育成」「生産性の向上」の観点から、社会経済情勢を踏まえた今後の港湾・空港工事のあり方について議論し、各種取り組みを策定してきた。
- 各種取り組みの実効性を高めるためには、継続的なフォローアップと見直しが必要である。
- このため、「港湾・空港工事のあり方検討会ワーキンググループ^(※)」にて、進捗状況や課題の共有及びそれらを踏まえた取り組みの見直しを行うというサイクルを構築する。
- 重要な検討テーマが生じた場合は別途「港湾・空港工事のあり方検討会」を開催して検討。

※より実務的な内容を議論するため、港湾・空港工事のあり方検討会委員のうち行政・関係団体委員を構成員として設置。

各種検討会等における検討内容

港湾・空港工事のあり方検討会（R4dまでのテーマ）

- 港湾・空港工事の工期の設定に関するガイドラインの策定
- 港湾工事の事業環境を踏まえた請負代金のあり方の検討
- 港湾・空港工事の持続可能性を確保するための作業船のあり方に関する基本的考え方の取りまとめ
- 港湾工事及び港湾の設計・測量・調査等業務における契約変更事務ガイドラインの改訂

※重要な検討テーマが生じた場合は別途開催を検討

港湾工事におけるプレキャスト工法導入促進検討会（R5d以降も継続予定）

- マニュアル等試行版の公表
- 試行工事の実施

港湾におけるi-Construction推進委員会（R5d以降も継続予定）

- モデル工事の推進
- BIM/CIMのプラットフォームの整備
- 基準・要領類の策定、改訂

港湾工事における二酸化炭素排出量削減に向けた検討WG（R5d以降も継続予定）

- 試行工事の実施

各種施策の実施、個別事業への反映等

港湾・空港工事のあり方検討会WG

- ✓ 進捗状況の共有
- ✓ 実行上の課題、意見交換

- ✓ 進捗状況等を踏まえた見直し
- ✓ 新たな取り組みの実施